

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 4 月 30 日 (2009.4.30)

【公開番号】特開 2008-182739 (P2008-182739A)
 【公開日】平成 20 年 8 月 7 日 (2008.8.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-031
 【出願番号】特願 2008-60950 (P2008-60950)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/32 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/137 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 17 日 (2009.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

レファランスピクチャの同一位置のブロックを用いた、現在のピクチャの双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルの導出方法であって、

前記レファランスピクチャの同一位置のブロックを決定し、

前記同一位置のブロックが list 0 動きベクトルを有しているときは、前記同一位置のブロックが list 1 動きベクトルを有しているか否かにかかわらず、前記双予測ブロックの前記ダイレクトモード動きベクトルを求めるための動きベクトルとして、前記同一位置のブロックの前記 list 0 動きベクトルを選択し、

前記同一位置のブロックが list 1 動きベクトルのみを有しているときは、前記双予測ブロックの前記ダイレクトモード動きベクトルを求めるための前記動きベクトルとして、前記同一位置のブロックの前記 list 1 動きベクトルを選択し、

前記同一位置のブロックの前記選択した動きベクトルに基づいて、前記双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルのうちの少なくとも 1 つを求める、

ことを特徴とするダイレクトモード動きベクトルの導出方法。

【請求項 2】

レファランスピクチャの同一位置のブロックを用いた、現在のピクチャの双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルの導出方法であって、

前記同一位置のブロックの動きベクトルのモード (list 0 モード及び / 又は list 1 モード) に関わらず、ダイレクトモード動きベクトルを求めるための動きベクトルとして、ダイレクトモードのための list 1 レファランスピクチャの同一位置のブロックのいずれかの動きベクトルを選択し、

前記ダイレクトモードのための list 0 レファランスピクチャとして、前記選択された動きベクトルによって指し示されるレファランスピクチャを決定し、

前記同一位置のブロックの前記選択した動きベクトルに基づいて、前記双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルのうちの少なくとも 1 つを求める、

ことを特徴とするダイレクトモード動きベクトルの導出方法。

【請求項 3】

ダイレクトモードのための list 1 レファランスピクチャの同一位置のブロックが、list 1 動きベクトルのみを有する場合には、

さらに、前記ダイレクトモード動きベクトルを求めるための動きベクトルとしてlist 1動きベクトルを用い、

前記list 1動きベクトルによって指し示されたレファランスピクチャをダイレクトモードのためのlist 0レファランスピクチャと決定する、請求項1に記載のダイレクトモード動きベクトルの導出方法。

【請求項4】

ダイレクトモードのためのlist 1レファランスピクチャの同一位置のブロックが、list 1動きベクトルのみを有する場合には、

さらに、前記同一位置のブロックは動き0を有すると見なし、

時間的に前記レファランスピクチャの直前に位置するデコーディングされたピクチャを前記ダイレクトモードのためのlist 0レファランスピクチャと決定する、請求項1に記載のダイレクトモード動きベクトルの導出方法。

【請求項5】

ダイレクトモードのためのlist 1レファランスピクチャの同一位置のブロックが、list 1動きベクトルのみを有する場合には、

さらに、前記同一位置のブロックのlist 1動きベクトルを前記ダイレクトモード動きベクトルを求めるための動きベクトルと決定し、

時間的に前記レファランスピクチャの直前に位置するデコーディングされたピクチャを前記ダイレクトモードのためのlist 0レファランスピクチャと決定する、請求項1に記載のダイレクトモード動きベクトルの導出方法。

【請求項6】

ダイレクトモードのためのlist 1レファランスピクチャの同一位置のブロックが、2つの動きベクトルを有する場合には、

さらに、前記2つの動きベクトルlist 0動きベクトル及びlist 1動きベクトルのいずれかを選択する、請求項1に記載のダイレクトモード動きベクトルの導出方法。

【請求項7】

さらに、時間間隔に関わらず、前記ダイレクトモード動きベクトルを求めるために、動きベクトルとして、前記list 0動きベクトルを無条件に選択し、

前記list 0動きベクトルによって指し示されたレファランスピクチャをダイレクトモードのためのlist 0レファランスピクチャと決定する、請求項6に記載のダイレクトモード動きベクトルの導出方法。

【請求項8】

前記ダイレクトモード動きベクトルを求めるための動きベクトルとして、前記list 1レファランスピクチャと時間的に近いピクチャを指し示している、list 0動きベクトル及びlist 1動きベクトルの一方を選択し、

前記2つの動きベクトルが同一のレファランスピクチャを指し示している場合には、

さらに、前記ダイレクトモード動きベクトルを求めるための動きベクトルとして、前記list 0動きベクトルを選択し、

前記ダイレクトモードのためのlist 0レファランスピクチャとして、前記選択された動きベクトルによって指し示されるレファランスピクチャを決定する、請求項6に記載のダイレクトモード動きベクトルの導出方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明のダイレクトモード動きベクトルの導出方法は、レファランスピクチャの同一位置のブロックを用いた、現在のピクチャの双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルの導出方法であって、レファランスピクチャの同一位置のブロックを決定し、同一位置

のブロックがlist 0動きベクトルを有しているときは、同一位置のブロックがlist 1動きベクトルを有しているか否かにかかわらず、双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルを求めるための動きベクトルとして、同一位置のブロックのlist 0動きベクトルを選択し、同一位置のブロックがlist 1動きベクトルのみを有しているときは、双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルを求めるための動きベクトルとして、同一位置のブロックのlist 1動きベクトルを選択し、同一位置のブロックの選択した動きベクトルに基づいて、双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルのうちの少なくとも1つを求めることを特徴とする。